



東京都立鹿本学園 学校通信 令和4年 1月11日号

学びの虹

東京都立鹿本学園

校長 高橋 馨

東京都江戸川区本一色2-24-11

電話 03-3653-7355

新年を迎えて

あけましておめでとうございます

新年を迎え、新たなお気持ちでお過ごしのことと存じます。児童・生徒の皆さんも年末年始の普段とは違う過ごし方や、お正月ならではの雰囲気を感じることで、新しい年を迎えたことを実感していたのではないかと思います。どんなお正月を過ごされたのか、教室等で紹介される掲示物を楽しみにしております。

さて、『一年の計は元旦にあり』ということわざがあります。「一年のことは年の初めの元旦に計画を立てて行うべきである」ということから、物事の初期に計画を立てて行うことの大切さを意味しています。また、「今年こそは」という“新たな目標のきっかけ”としてもよく使われるようです。たしかに、どんなことでも計画を立てて進めるということは、当たり前のこととして理解しています。しかし、その計画すべき目標自体が定まっていないことが少なくありません。特に自分の生活や将来のことについてとなると簡単ではなく、むしろ気づいたら目標も計画もないまま時を重ねてしまう、ということも多いのではないのでしょうか。

目標は、日々の生活をより充実したものにしてくれます。新年、新学期の始めに、少し先の未来を想像し、新たな目標を考えてください。そして令和4年も充実した一年にしていきたいと思います。本年もよろしく願いいたします。

特別支援教育推進計画

昨年11月に『東京の特別支援教育の充実に向けて』というタイトルで「東京都特別支援教育推進計画（第二期）第二次実施計画」の素案が東京都教育委員会のHPに示されました。御覧になった方も多いかと思います。今後は素案

に対し寄せられた意見を踏まえ、3月頃までに策定・公表される予定です。この素案ですが、昨年3月に制定された「東京都子ども基本条例」を踏まえ、子ども（当事者）の意見が適切に政策に反映されるよう「概要版」、「本文」と共にイラスト等を多く使いコンパクトにまとめた『わかりやすい版』が示されています。これを見ますと、本校の児童・生徒に直接関わる内容として、「進路」「医療的ケア」「交流活動」「デジタル活用」「スポーツ・芸術教育」等のキーワードとなる記述があります。特別支援教育推進計画は、今後の特別支援学校の取組みの方向を示すものです。気になったキーワードを手がかりに、『わかりやすい版』から「概要版」そして「本文」へと、お子様のこれからの取組みを考える視点で、是非一度御覧下さい。

青い空に学びの虹を

新しい年、令和4年も不安な状況は続いております。新型コロナウイルス、オミクロン株による新規感染者の急激な増加から、まん延防止等重点措置を適用する地域も出てきました。東京も、緊急事態宣言を含めた厳しい状況が見込まれます。引き続き制限や制約の中での学校生活や学習活動となりますが、今年も、様々な工夫をしながら、児童・生徒がしっかりと学びを重ねられるよう進めてまいります。

この状況が解消されたとき、雨が上がり晴れた空に虹が架かるように、児童・生徒の輝く未来につながる虹の架け橋、令和4年がそのような1年となりますよう教職員一同、新たな決意で努めて参ります。本年も、本校、鹿本学園への御理解・御協力をお願いいたします。

鹿本学園校長 高橋 馨